

校内研修計画

甲州市立塩山南小学校

1. 研究主題

ふるさと甲州の伝統文化に親しみ，郷土を愛し，誇りに思う児童の育成
～地域とのふれあいを通して～

2. 主題設定の理由

甲州市は「人・自然・ふるさとを愛する甲州教育」を教育の基本理念に掲げ，甲州市の教育を推進している。本校は甲州市の中心部に位置し，教育に対し深い理解を有する地域や保護者の惜しみない支援，協力を受けながら，甲州市の伝統ある中心校として教育活動を展開している。さらに，甲州市が推し進めている「地域に根ざした教育の推進」にも力を入れ，地域に根ざした豊かで多様な学習環境を構築し，創意工夫に満ちた教育活動の展開を図っている。

本校の学校教育目標は，「ふるさと塩山の自然と文化を愛し，主体的かつ意欲的に自己を創りあげ，社会の進歩に貢献できる知・情・意・体の調和のとれた豊かな人格の形成をめざす。」，そして，目指す子供像は，「やさしく・かしこく・たくましく」である。校区内はもとより，武田信玄の菩提寺，恵林寺がある甲州市は自然に恵まれ，菅田天神社（国宝「小桜韋威鎧兜大袖付」），甘草屋敷など，数多くの文化財を有している。こうした地域の歴史や文化・伝統を各教科等の学習素材として開発し，教材として活用したり，体験活動を積極的に取り入れたりすることにより，地域のよさや地域とのふれあいを子供たちがより強く実感できる取組を推し進めていきたい。学習を通して，先人たちが築いた伝統や文化を継承した人々の思いや生き方を学び，郷土や地域，家族や自分自身，そして，ふるさと甲州市に愛着や誇りを持つことを目指し，本主題を設定した。

3. 研究の具体的内容と方法

(1) 研究内容

1. 国家・社会の発展に尽くしてきた先人の業績や働きや努力について進んで学ぶことにより，我が国や郷土の歴史に対する理解と関心を深める。
2. 我が国や郷土に根づいてきた伝統的な芸能や生活文化，産業の状況とともに，優れた文化財や文化遺産の意義を理解し，それらを継承・発展しようとする意欲や態度を養う。
3. わが国や郷土の豊かな自然環境を理解し，地域や国土の環境保全に尽くそうとする態度を育成する。
4. 家庭や学校，地域社会や国家，さらには国際社会の一員としての自覚をもち，よりよい社会の形成に進んで参画・貢献しようとする態度を育成する。
5. 国語，書写，社会，理科，音楽，図工，生活，総合的な学習の時間，道徳など，学校教育全体を通して実践を行い，ふるさと甲州を愛し，郷土に対する誇りを持つ態度を育成する。

(2) 具体的な研究活動と方法

①児童及び教師の意識実態調査と分析

- ・「伝統文化アンケート」を実施し，児童と教職員の実態把握と分析を行う。「国宝や文化財」「地域の祭り」「郷土食」「フルーツ」等，興味関心を生かした授業づくりを行う。

②伝統文化の視点と年間指導計画の見直し

- ・教科等の指導目標を実現するため，設定した伝統文化の視点を全職員で共有する。

- ・各学年の教育課程と、地域素材との関連付けを行い、年間指導計画の見直しを行う。

③授業の構想や指導過程が見通せる「教材化シート」の作成

- ・地域素材の概要や伝統文化の視点との関連、また地域とのふれあいの在り方などを1枚にしたシートを作成する。

④発問や素材との出会わせ方を工夫した授業の展開

- ・思考の活性化を図る発問の工夫や、地域素材との効果的な出会わせ方を研究し、授業づくりに生かす。

⑤学習環境の整備と人材バンクの活用

- ・研究主題の具現化に迫るため、指導内容や教育目標を地域の産業や行政に携わる方々と共有し、連携を図りながら授業作りを行う。
- ・学習の足跡を児童自ら確認できるような学習掲示の工夫と、環境整備を行う。

4. 研究計画

研究主任 小椋 規雄

実施時期	研究内容，研究方法，成果の公開等
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題，研究内容，研究組織，研究計画の検討。（4月） 児童・職員を対象としたアンケートの実施・集計・分析。（4月～5月） ・地域素材との出会わせ方や，地域とのふれあいの持ち方について検討。 ・「問い」の精選を通して，主体的・対話的な活動への在り方を探る。 ・授業の構想や指導過程が見通せる「教材化シート」の作成。（学年1シート） ・伝統文化教育年間指導計画の見直し。 ・研究授業Ⅰ（各ブロックで1実践）（6月か7月）
夏季休業中	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討（各ブロック・全体会）
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年の3つのブロックに分かれ，伝統文化教育の視点を取り入れた授業づくりを行い，検証する。（一人一実践） ・公開研究発表会の実施（10月30日） ※ブロック1実践（計3実践） ・児童を対象としたアンケートを実施・集計・分析（11月） ・研究のまとめ・成果と課題の把握 ・紀要作成（1月）
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の実施（2月） ・成果と課題の確認（2月・3月） ・郷土資料の活用方法の検討 ・他校への啓発活動